

発刊によせて

人間福祉学部長 芝野 松次郎

関西学院が神戸原田の森で産声を上げてから120年に垂とする歳月が過ぎました。干支が一巡すると還暦ですが、関西学院は二巡し、大還暦を迎えることとなります。「人間福祉学部」は、この節目に、社会学部社会福祉学科で培った資産に加え、スポーツ科学・健康科学研究室や産業研究所などの資産を受け継ぎ、学際的な学部として新たな歩みを始めることになりました。

人間福祉学部は3学科から構成されています。人がその人らしく生きることを援助する専門的人才を養成する「社会福祉学科」、地域の問題をビジネスによって解決する人才を養成する「社会起業学科」、そして人の心と身体を一体として理解し自己実現を援助する人才を養成する「人間科学科」の3学科です。このように、3つの学科はそれぞれ個性的な教育研究の目的を持っていますが、一方で問題解決志向という特性を共有しており、これが学部としての特徴になっています。

人間福祉学部は、問題解決志向の「実学の府」となることを目指しています。しかし、実学にはしっかりした裏づけがなければなりません。同時に設置された大学院の「人間福祉研究科」では、高度な専門職と研究者の養成に加えて、人間の営みに関わる諸問題の解決と人間の可能性の開発と成長に貢献する研究活動がなされます。人才の養成を通して得られる知識と技術の蓄積、そして地道な研究活動の成果の蓄積によって裏づけられた実学の提供が教育理念のなかに位置づけられています。

こうした人間福祉学部と人間福祉研究科における教育研究活動を活発に行なうことから得られる成果をまとめ、広く発信する場として『Human Welfare』（HW）が創刊されることになりました。先に創刊された『人間福祉学研究』が、関西学院大学の枠を越え、国内外からの投稿を受け、厳密な査読審査によって採用された研究論文を公開する純粋な学術研究誌であるとする、HWは人間福祉学部・研究科の紀要ということができます。

紀要ということですので、学部に所属するすべての教育研究者が、年間の活動成果を発表する場として活用されます。研究成果を論文として発表したり、教育の試みや成果を報告書として発表したり、調査活動の成果を報告書として発表したり、あるいは、さまざまな長期的研究活動の進捗を報告する場ということになります。しかし、HWは、これに留まらず、学部構成員である学生・院生のみなさんに対して、学部の教育研究活動を現在進行形で伝え、理解を促し、共有するための情報誌でもあります。HWは、人間福祉学部・研究科で時間をともにする者がファミリーとしてアイデンティティを実感できる情報誌を目指します。読者のみなさんからのさまざまなフィードバックにより進化していく情報誌として成長することを期待しています。